

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (生活支援)部

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 学校番号 105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け自ら学び自ら考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切に、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。 	
評価する領域・分野	生活支援、生活安全、通学支援、特別活動、教育相談、人権教育	
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階でケース会議を開き、きめ細かな指導ができた。 ・登下校の交通安全に向けて指導を徹底することができた。 ・部活動の充実を図り生徒が積極的に取り組めた。 ・年3回迷惑調査を実施し、生徒の抱えている問題について早期発見早期対応に努めた。 	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生活安全面の指導、登下校指導、挨拶運動の推進、部活動の充実、 ・スクールカウンセラーの充実、人権教育の推進 (いじめ防止) 	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援部の各係が中心となり、全校職員体制で取り組む。 ・早期発見、早期対応で他の分掌との連携に努める。 	
目標の達成に必要な具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導、搜索訓練、不審者対応訓練 ・スクールバス指導、自力通学生の指導 ・生徒会中心の挨拶運動の推進、MSリーダーズ活動 ・スクールカウンセラーの活用、心の健康調査、人権研修の実施 	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一を想定して取り組む。・乗車指導、自力通学の安全指導をする。 ・生徒自ら行う。・早期発見早期対応する。・職員の研修を実施する。 	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員対象の搜索と不審者対応訓練の実施。・SBと自力通学の登下校指導。 ・登下校時の挨拶運動の実施。・早い段階でのスクールカウンセラーの活用 ・年3回の心の健康調査の実施。・人権研修の実施 	
評価の視点		評価
①共通理解ができ、きめ細やかな指導ができたか。		A (B) C D
②児童生徒の安全に配慮できたか。		A (B) C D
③安全に留意し計画的に指導できたか。		A (B) C D
④児童生徒に対する課題意識がもてたか。		A (B) C D
成果・課題		総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○中高生徒会中心の挨拶運動の推進により、児童生徒職員に挨拶が定着してきた。 ○部活動を種目的に分けることで専門性を養うことができた。 ○スクールカウンセラーの活用で、教育相談に役立ち、指導に生かすことができた。 ●生徒の心の問題に迫る指導の在り方を工夫する必要がある。 		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の情報等を共有する。 ・生活支援部内の報・連・相の徹底と職員の係り分担を明確化する。 ・他分掌との連携を密にする。 	

学校関係者評価 (平成31年2月7日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活・活動の中での先生方の細やかなご指導に対し、感謝申し上げます。
-----------	--